

歴史は DOES NOT 繰り返さ ITSELF BUT 軌を踏む

Evolutionary CHRONICLE

前期 後期

2025年11月15日(土)—12月2日(火) 2025年12月6日(土)—12月23日(火)

12:00–19:00 (金・土は20:00まで、会期中無休)

Aron HERDRICH アーロン・ヘルドリッヒ

松本奈央子 Naoko MATSUMOTO

Shiori HIGASHIYAMA 東山詩織

松延総司 Soshi MATSUNOBE

Michiko NAKATANI 中谷ミチコ

村田啓 Kei MURATA

Ivo RICK イヴォ・リック

小田原ルーカス Lucas ODAHARA

Tatsuma TAKEDA 武田竜真

ヨハネス・シュペックス Johannes SPECKS

UP
& COMING

多摩美術大学創立90周年記念事業

助成：公益財団法人野村財団 公益財団法人朝日新聞文化財団

協賛：一般社団法人多摩美術大学校友会

歴史は繰り返さないが、韻を踏む

History does not repeat itself, but rhymes

前期：2025年11月15日(土)―12月2日(火)

後期：2025年12月6日(土)―12月23日(火)

12:00-19:00 (金・土は20:00まで、会期中無休)

Evol.3 CHRON



前期アーティスト(右上から時計回り):
 Michiko NAKATANI 〈Harden the Night
 - fire〉2018 / Tatsuma TAKEDA
 〈The Eye of a Needle〉2021 /
 Shiori HIGASHIYAMA 〈Red Roofs〉
 2023 / Ivo RICK 〈Twister (aye)〉2023 /
 Aron HERDRICH 〈chapter 20.18:
 ein Funken〉2025



後期アーティスト(右上から時計回り): Naoko MATSUMOTO
 〈untitled〉2023 / Kei MURATA 〈4C〉2025 / Johannes SPECKS
 〈VOGELHÄUSER〉2022 / Soshi MATSUNOBE 〈Direction of
 Materials〉2024 / Lucas ODAHARA 〈Stil Men〉2022

歴史は繰り返さないが、韻を踏む。人類の長い歴史の中で、さまざまなものが場所から場所へと動くことで複製され、その過程で自らの価値を失ったり新たに手にしたりすることで変容する。それはまるで細胞が複製を重ねることで集合体をつくり、ときにエラーを起こすことで新しいものへと変わっていく姿のようで、このような複製と変化の繰り返しの先に現代の社会が在り、私たちが存在しているのだ。それはどの劇場に足を運んでも同じものを観ることのできる映画のような複製とは違い、戦争や疫病といった人類にとっての負の歴史や、アーティストにとって身近な美術史といったものから個々の毎日まで、さまざまなものが微細な変化の連続の上に成り立っている。つまり、私たちが住む世界も複製エラーの繰り返しであり、この積み重ねが新たな物語として現れる。その全てが不安定性を備えた唯一無二なもので、一言に複製としてひとまとめにはできない。そして、この流動的な不安定性こそがアーティストの作品制作の根幹とも言え、さらにそこに、さまざまな要素の集合体の一回性を持ち合わせることで、日々の生活からあらゆる要素の動的な魅力を紡ぎ表象する。本展では、そこから生みだされる作品を介すことで、ドイツ人思想家のヴァルター・ベンヤミンが提唱した「アウラ」という一回性の概念についての再考を試み、大量の複製で埋没した現代社会を補完したい。

本展は多摩美術大学創立90周年事業の一環として、ドイツを拠点に活動するアーティストと日本を拠点に活動するアーティストの計10名を招聘し、前期と後期に分けることで異なる5人展を二度開催する。途中でアーティストと作品を入れ替える二期構成の展覧会とすることで、一つの展覧会の中で万華鏡のような流動的な物語をつくりあげる。さらには、この展覧会をドイツでも開催することで、展覧会自体も変化し「韻を踏む」。

前期オープニング：アーティストトーク

ゲスト：能勢陽子(東京オペラシティアートギャラリー シニアキュレーター)

2025年11月15日(土) 17:00

後期オープニング：ヨハネス・シュベックスによる料理パフォーマンス

2025年12月6日(土) 18:00

UP & COMING 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3丁目42-18

Up & Coming はアキバタマビ21を継いで多摩美術大学が運営する、若い芸術家たちのための作品発表の場である。ここは若い芸術家たちが、互いに切磋琢磨しながら協働し共生することを体験する場であり、他者と触れ合うことで自我の殻から脱皮し、既存のシステムや権威に依存することなく自らをプロデュースし自立していくための、鍛錬の場でもある。そうありたいという希望を託して若い芸術家たちにゆだねる、あり得るかもしれない「可能性」の場であり、その可能性を目撃していただく場所である。

- 東京Metro銀座線
外苑前駅3番出口より徒歩4分
- 東京Metro銀座線・千代田線・半蔵門線
表参道駅A2出口より徒歩10分
- 東京Metro千代田線・副都心線
明治神宮前〈原宿〉駅5番出口より徒歩13分

Tel: 03-6692-0425 upandcoming.tamabi.ac.jp

